

データヘルス計画の目指すところ：健康寿命の延伸、医療費適正化

社会保障費健全化に向けたうま市の実態

ー特定健診・保健指導のメリットを活かし、健康日本21（第二次）を着実に推進ー

厚生労働省 健康局

「標準的な健診・保健指導プログラム
30年度版」図1 改定

○地域・職域のメリット

- ・重症化が予防できる
- ・医療費の伸びを抑制できる

○個人のメリット

- ・重症化予防ができる
- ・死亡が回避できる

特定健診・特定保健指導の実施率の向上

データの分析

未受診者への受診勧奨

健康のための資源
(受診の機会、治療の機会)
の公平性の確保

健康格差の縮小

メタボリックシンドローム

④ 短期目標

高血圧

	収縮期血圧 140以上	拡張期血圧 90以上
男性	31.6%	16.8%
内) 腹囲あり	67.9%	69.6%

	収縮期血圧 140以上	拡張期血圧 90以上
女性	30.0%	12.0%
内) 腹囲あり	38.9%	37.2%

脂質異常症

	中性脂肪 150以上	HDL 40未満	LDL 140以上
男性	29.7%	7.2%	26.1%
内) 腹囲あり	76.5%	81.3%	66.9%

	中性脂肪 150以上	HDL 40未満	LDL 140以上
女性	20.2%	1.9%	32.4%
内) 腹囲あり	43.0%	54.1%	28.7%

2型糖尿病

	正常 5.5以下	正常高値 5.6~5.9	境界型 6.0~6.4	糖尿病型 6.5以上
男性	32.9%	36.4%	16.8%	13.9%
内) 腹囲あり	52.5%	62.8%	70.3%	81.4%

	正常 5.5以下	正常高値 5.6~5.9	境界型 6.0~6.4	糖尿病型 6.5以上
女性	29.5%	44.3%	16.4%	9.5%
内) 腹囲あり	18.0%	26.8%	43.7%	55.2%

尿蛋白

	尿蛋白 + 以上
男性	6.9%
内) 腹囲あり	74.9%

	尿蛋白 + 以上
女性	3.1%
内) 腹囲あり	38.6%

⑤ 中長期目標

総数

健診受診者のうち
脳血管疾患 15.1%

	腹囲あり
	51.9%

健診受診者のうち
虚血性心疾患 8.0%

	正常 5.5以下	正常高値 5.6~5.9	境界型 6.0~6.4	糖尿病型 6.5以上
HbA1c	22.9%	35.2%	22.1%	19.9%
内) 腹囲あり	41.7%	57.6%	65.8%	67.0%

健診受診者のうち
糖尿病性腎症 6.7%

	腹囲あり
	65.2%

⑤ 中長期目標疾患の達成状況

【医療費】

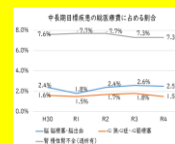
- ・中長期目標疾患である脳血管疾患、虚血性心疾患、腎疾患の医療費の合計が総医療費に占める割合は H30年度（11.9%）に対し、R4年度（11.6%）で減少
- ・慢性腎不全にかかる医療費は、H30年度（7.6%）からR4年度（7.3%）に減少しているが、R1年度より国民健康保険総医療費の第1位となっており、県、国よりかなり高い
- ・虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）にかかる医療費はH30年度（1.6%）からR4年度（1.5%）で横ばいで、県より低い
- ・脳血管疾患（脳梗塞、脳出血）にかかる医療費はH30年度（2.4%）からR4年度（2.5%）で横ばいで、県、国より高い
- ・新規人工透析導入患者はR2年度以降増加しており、R4年度23人、平均年齢が64.1歳

【介護認定状況】

- ・H30年度とR4年度の疾患別患者数の比較より、脳血管疾患、虚血性心疾患における介護認定割合が増加

【地区の特性】

- ・新規人工透析導入患者の65歳未満の割合を地区別にみると、具志川地区は減少、与勝地区は増加



うま市（国保）74歳以下 新規人工透析導入患者と導入平均年齢の推移

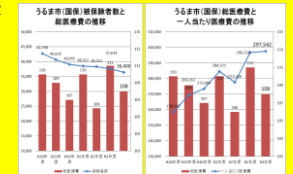


地区別 新規人工透析導入患者に占める 65歳未満の割合



① 医療費・介護費

- ・国保加入者は減少しているが総医療費は増加しており、一人あたり医療費はH30年約27万円からR4年約30万円に増加している
- ・一人あたり医療費は国、県より低い
- ・総医療費に対する入院医療費の割合は減少傾向であるが、1件あたりの費用額は増加
- ・一人あたり介護給付金は、H30年約37万円からR4年約33万円に減少しているが、介護認定者数増加に伴い総給付金は増加



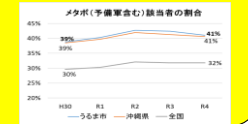
② 特定健診・特定保健指導

- ・R1年度以降、特定健診受診率が低迷しており、R4年度は県内41市町村中41位と最も低く、年代別では40代~50代が特に低い
- ・特定保健指導率は、R3年度以降60.0%を下回り、R4年度59.7%で県内41市町村中28位



③ メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合

- ・メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合はH30年度39%からR4年度41%に増加、全国、県より高い
- ・男性のメタボ割合は5割を超えている



④ 短期目標疾患の達成状況

【高血圧の状況】

- ・血圧 II 度以上（160/100以上）の割合はH30年度（7.6%）からR4年度（8.7%）に増加
- ・高血圧治療中の方の合併症について、脳血管疾患、虚血性心疾患、人工透析割合が減少
- ・H30年度とR3年度健診結果比較より、高血圧の未治療者割合は減少しているが、医療のかかり方から治療中断割合（3か月以上受診がない者の割合）が県より高い

【糖尿病の状況】

- ・糖尿病治療中の方の合併症の中で、人工透析の割合は40~64歳で減少しているが、65~74歳においては増加
- ・糖尿病治療中の方の合併症の中で、脳血管疾患の割合は65~74歳で減少しているが、40~64歳においては増加
- ・H30年度と令和3年度健診結果比較より、糖尿病の未治療者は減少し、未治療割合も県より低い

【脂質異常症の状況】

- ・脂質異常症治療中の方の合併症の中で、虚血性心疾患割合は減少

【メタボリックシンドロームの状況】

- ・腹囲所見のある方は有所見割合が高く、特に男性においては6割以上が高血圧、脂質異常症、2型糖尿病、尿蛋白の有所見となっている
- ・2年連続健診受診者で特定保健指導を受け、次年度特定保健指導対象からはずれた割合（減少率）は、R4年度（19.6%）で最も高く、県より高い

